

## 活用事例

- 橋長 : 247.5m 幅員 : 10.72m
  - 橋梁形式 : 5径間連続合成鋼桁橋
  - 対象部位・部材 : 第4径間, P4
  - 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010009-V0020
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

## 橋梁・支援技術



## 位置図及び平面図



### ○点検支援技術の効果

- ・高架下の条件(のり勾配等)に左右されない。
- ・通行規制の必要がないため、効率的な点検が可能。
- ・桁間内の横桁、対傾鋼を避けながら近接可能。

### ○近接目視と同等と判断した理由

- ・点検車とほぼ同じ範囲の写真撮影が可能。
- ・事前調査結果にて、主要部材に顕著な損傷が発生していない。
- ・第三者被害防止措置対象外であり、叩き落としの必要がない。

### ○使用時の留意事項

- ・強風や降雨時は点検不可。
- ・深さや厚み等の立体計測は不可

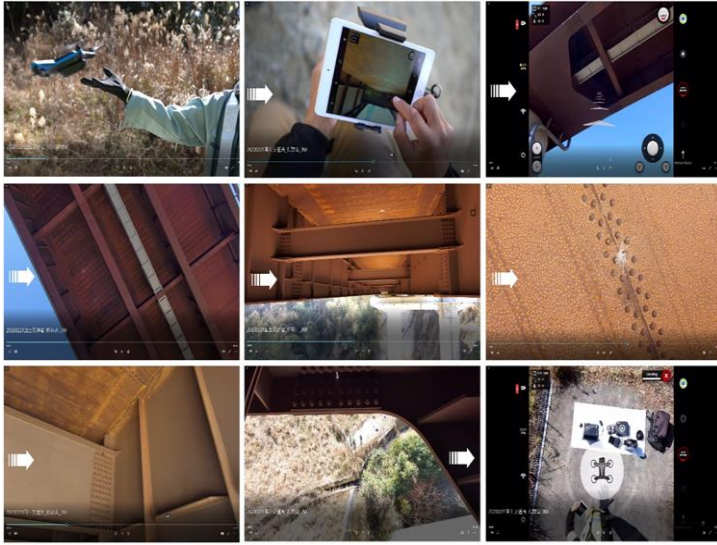


写真-1 点検状況(事例)



写真-2 対傾構(健全)



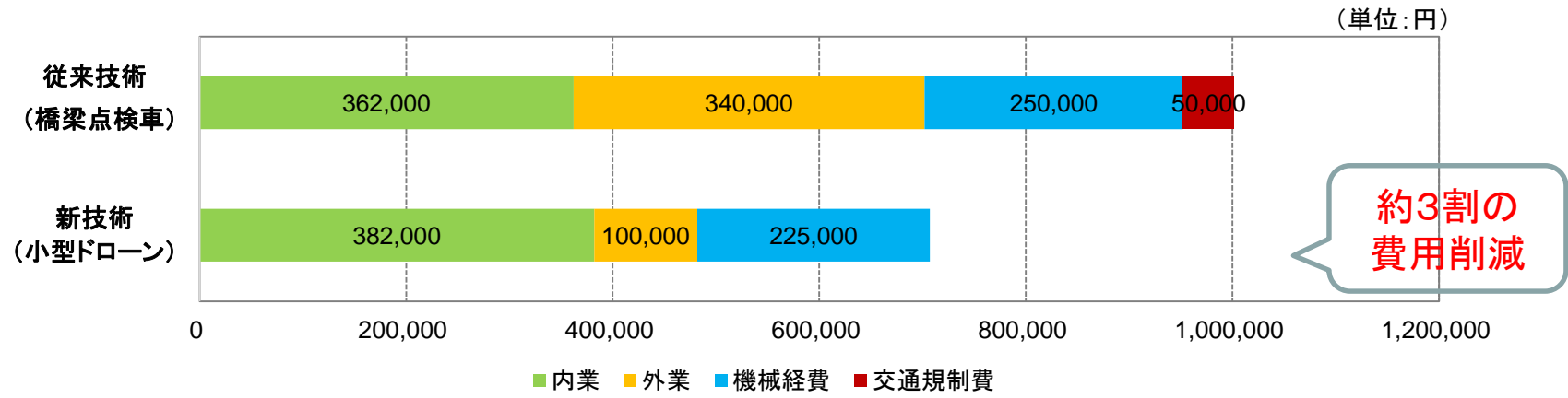
写真-3 沓座モルタル(ひびわれ)



写真-4 排水管(漏水・滞水:e)

## コスト比較

比較条件: 上部工を点検した場合のコスト比較。  
 評価: 従来技術(橋梁点検車)と比べ、外業および交通規制費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	ドローンによる画像撮影
内業	調書作成	写真データ整理
(その他比較)	橋梁点検車	J2(ドローン)
合計金額	1,002千円	707千円
工程	6日	3日 (外業1日+内業務2日)

○諸条件  
 橋面積: 567m<sup>2</sup>  
 橋脚高: 17m (GL~橋脚天端)  
 天候: 晴れ  
 対象部位: 部材: 第4径間, P4  
 進入路: 有り  
 点検時間: 8:00~17:00  
 たたき落とし作業: 無し  
 積算: 業者見積もり (R2.9)  
 前回の健全度: II 判定